

平成29年度予算見積調書

課室名：医療整備課
 担当名：地域医療対策担当
 内線：3667 (単位：千円)

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | |
|---|---------------|---------|----|--|-----|-----------------------|-----|---------|------------|
| B48 | 転院体制構築支援事業費 | | | 一般会計 | 衛生費 | 医薬費 | 医務費 | 救急医療対策費 | |
| 事業期間 | 平成29年度～平成31年度 | 根拠法令 | なし | 挑戦項目 | | 分野施策 020307 地域医療体制の充実 | | | |
| 1 事業の概要 | | | | 5 事業説明 | | | | | |
| <p>救命救急センターなど高次医療機関に対し救急隊が受入要請する際、ベッド満床を理由に受入れを断られるケースがある（重症事案の受入不可件数のうち6回に1回はベッド満床）。</p> <p>これは、患者の症状が回復しているにもかかわらず、転院先医療機関に対し患者情報の提供がタイムリーに行われないことなどにより、転院が円滑に進んでいないことが要因にある。</p> <p>そこで、高次及び後方の医療者同士が定期的に情報交換することで、互いに顔の見える信頼関係を築き、円滑な転院を実現させるとともに、高次医療機関が他の救急患者に対し速やかな対応ができるよう支援する。</p> | | | | <p>(1) 事業内容</p> <p>①連携促進事業 381千円 連携を希望する後方支援医療機関を招集し、事例紹介や意見交換を行うなど、医療者同士で互いに顔の見える関係を築くことを目的とした「連携調整会議」を実施する高次医療機関に対し、必要な経費を補助する。 1 医療機関 127千円 × 3か所 = 381千円</p> <p>②カンファレンス参加促進事業 高次又は後方の医療機関が実施するカンファレンス（症例検討会）に参加し、転院の対象となる患者の状態を直接把握することは速やかな転院判断が行えることから、医師又は看護師等を派遣する医療機関に対し、必要な経費を補助する。 1 カンファレンス参加につき 30千円 30千円（1回当たり）× 2診療科 × 3 × 20 = 3,600千円</p> <p>(2) 事業効果 医療者同士で互いに顔の見える関係を築き、永続的な信頼関係の下地を作ることで、高次から後方への速やかな転院を実現する。その結果、ベッド満床を理由とした搬送要請不可の割合を削減できる。</p> <p>(3) 変更事項 後方支援医療機関から名称変更し、事業内容も見直した。</p> | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 (県10/10) | | | | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 なし | | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円 | | | | | | | | | |
| 予算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | 一般財源 | 前年との 対比 |
| 決定額 | 3,981 | 繰入金 | | | | | | 3,981 | △24,399 |
| 前年額 | 28,380 | 28,380 | | | | | | 0 | |